

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和6年7月1日(月)
 感染症対策センター
 (衛生環境研究所)

令和6年第18週から第22週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(18週～22週)5週 (R6.4.29～R6.6.2)	前回(13週～17週)5週 (R6.3.25～R6.4.28)	前々回(8週～12週)5週 (R6.2.19～R6.3.24)
1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(901)[↑329]	1 インフルエンザ(1,021)	1 インフルエンザ(1,520)
2 感染性胃腸炎(513)[↓13]	2 新型コロナウイルス感染症(616)	2 新型コロナウイルス感染症(1,133)
3 新型コロナウイルス感染症(429)[↓187]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(572)	3 感染性胃腸炎(680)
4 咽頭結膜熱(162)[↑63]	4 感染性胃腸炎(526)	4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(678)
5 RSウイルス感染症(107)[↑92]	5 咽頭結膜熱(99)	5 咽頭結膜熱(110)
6 その他(205)[↑142]	6 その他(63)	6 その他(65)
(合計 2,317)	(合計 2,897)	(合計 4,186)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は2,317件であり、20%(580件)の減となった。

増加した疾病		減少した疾病	
手足口病	1,667%	インフルエンザ	94%
RSウイルス感染症	613%	新型コロナウイルス感染症	30%
咽頭結膜熱	64%	感染性胃腸炎	2%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58%		

3 コメント

- ・県内全域にA群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報を発令しています。手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。
 また、まれに同じA群溶血性レンサ球菌等の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行することがある「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」が全国で増加しています。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する場合がありますため、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。
- ・咽頭結膜熱が全県で増加傾向となっており、注意が必要です。原因となるアデノウイルスはアルコールが効きにくいいため、石けんと流水でのこまめな手洗いやタオルの共用を避けるなどの感染予防をお願いします。
- ・RSウイルス感染症は増加傾向であり、注意が必要です。子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤などで消毒し、手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染症は、依然として一定数の患者報告が続き、集団感染事例も散発している状況です。手洗い、換気、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策が有効です。咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。
- ・ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が多い状況が続いており、集団感染事例も確認されています。トイレやオムツなどの汚物処理の後や、調理、食事の前などには、手洗いを徹底しましょう。

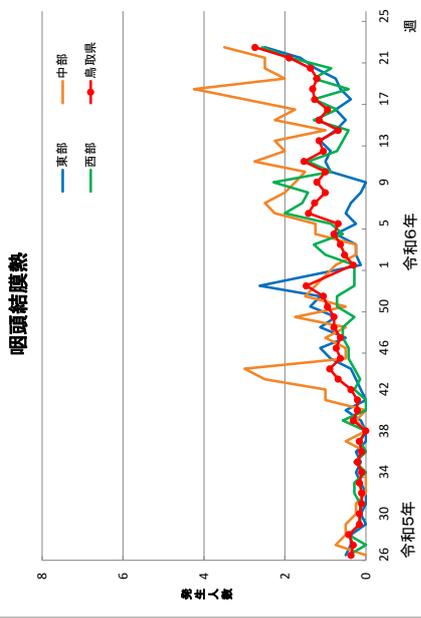
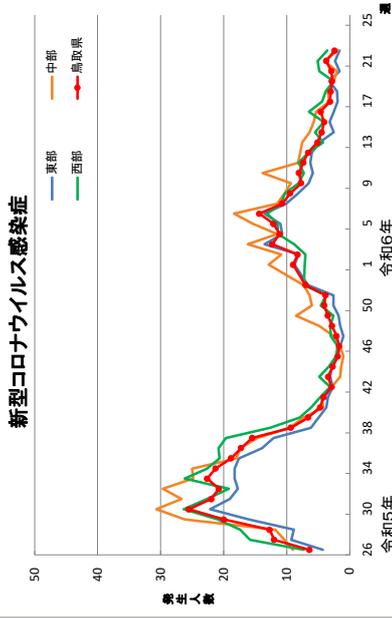
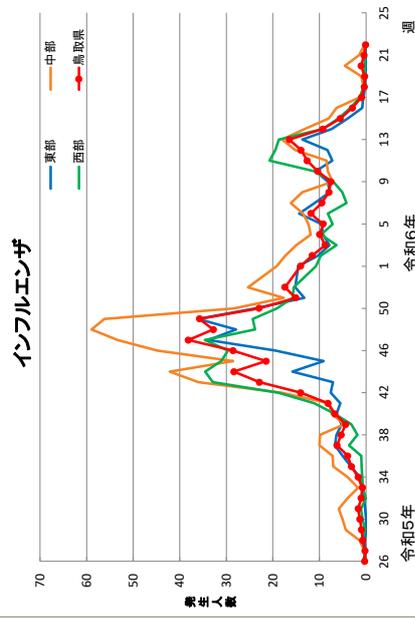
- 腸管出血性大腸菌感染症が5月に5例発生しています。食品の加熱は十分に行い、調理、食事の前などには、手洗いを徹底しましょう。
- 今年度初めて、東部地区において日本紅斑熱が確認されています。野山等に入るときは、長袖、長ズボンの着用、ダニ忌避剤の使用などの予防対策をとることが必要です。

令和6年第18週～第22週の報告患者数

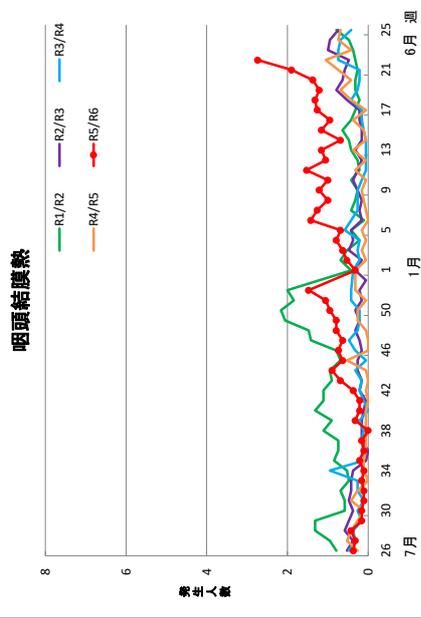
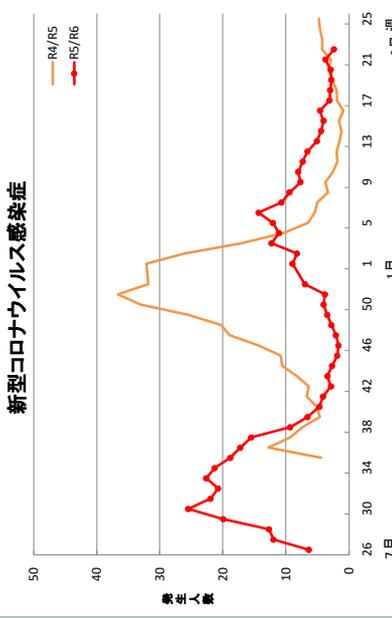
令和6年6月5日 作成

区 分	今回報告患者数 第18週～第22週(5週分)					前回報告患者数 第13週～第17週(5週分)				前々回報告患者数 第8週～第12週(5週分)				前回比 増 減	令和6年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	4	47	14	65	-956	316	281	424	1,021	506	316	698	1,520	-94%	4,776
2 新型コロナウイルス感染症	128	83	218	429	-187	178	168	270	616	393	297	443	1,133	-30%	4,431
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	54	59	49	162	63	28	41	30	99	23	40	47	110	64%	478
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	438	255	208	901	329	268	125	179	572	257	149	272	678	58%	3,219
5 感染性胃腸炎	290	132	91	513	-13	294	127	105	526	287	160	233	680	-2%	2,511
6 水痘	2	8	6	16	2	1	8	5	14	3	0	9	12	14%	50
7 手足口病	26	1	26	53	50	0	1	2	3	4	3	5	12	1667%	87
8 伝染性紅斑	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0%	2
9 突発性発疹	2	9	12	23	5	6	5	7	18	2	10	8	20	28%	85
10 ヘルパンギーナ	3	7	22	32	30	0	0	2	2	0	0	2	2	1500%	37
11 流行性耳下腺炎	1	1	0	2	2	0	0	0	0	1	0	3	4	-	8
12 RSウイルス感染症	59	10	38	107	92	5	1	9	15	5	2	2	9	613%	141
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	1
14 流行性角結膜炎	0	2	3	5	1	3	0	1	4	2	0	1	3	25%	23
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	0	0	0	0	-4	1	0	3	4	0	0	0	0	-100%	6
16 無菌性髄膜炎	2	0	0	2	0	2	0	0	2	2	0	0	2	0%	9
17 マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	5	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	-	6
合 計	1,009	620	688	2,317	-580	1,102	758	1,037	2,897	1,485	977	1,724	4,186	-20%	15,872

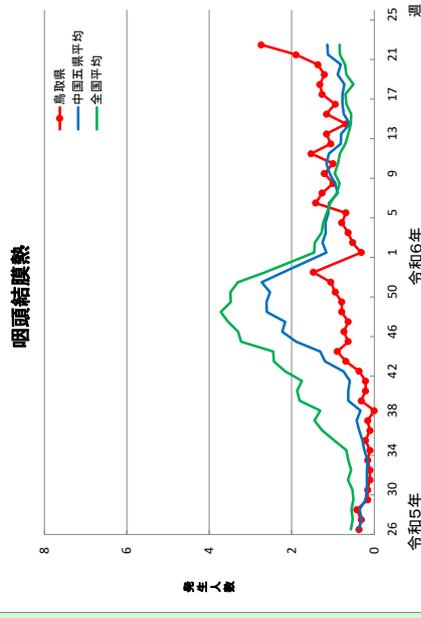
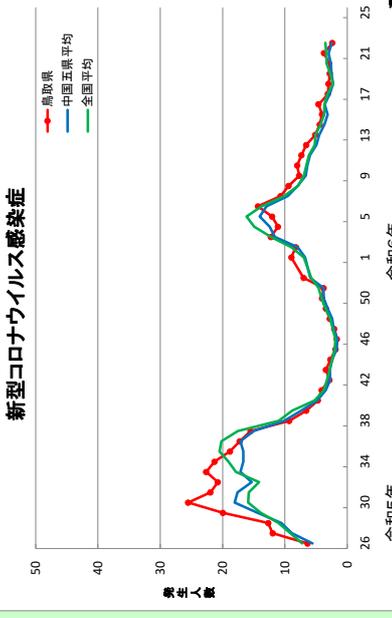
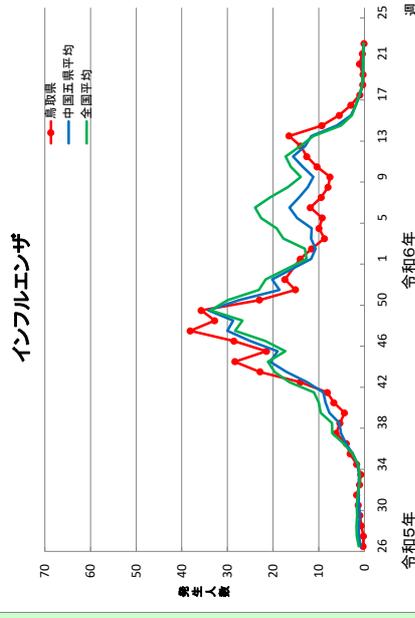
地区別発生状況グラフ(定点当たり)



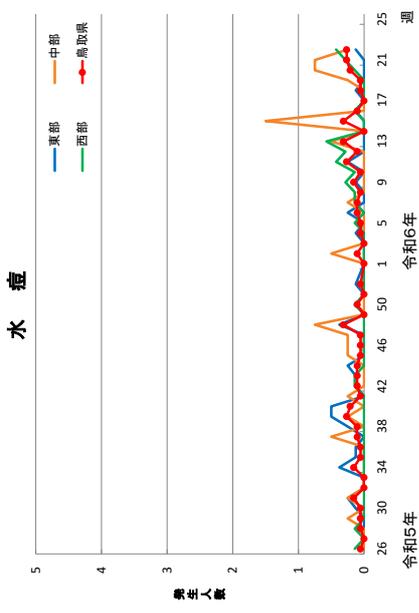
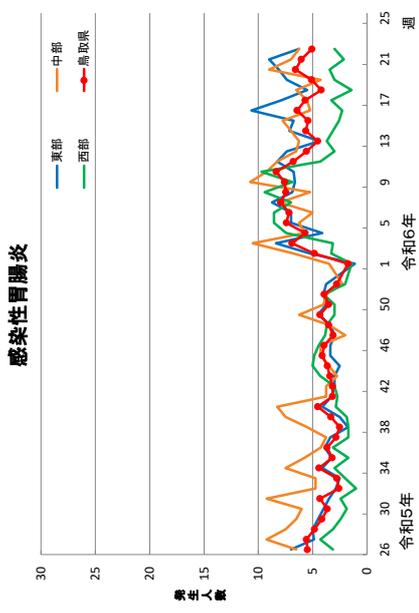
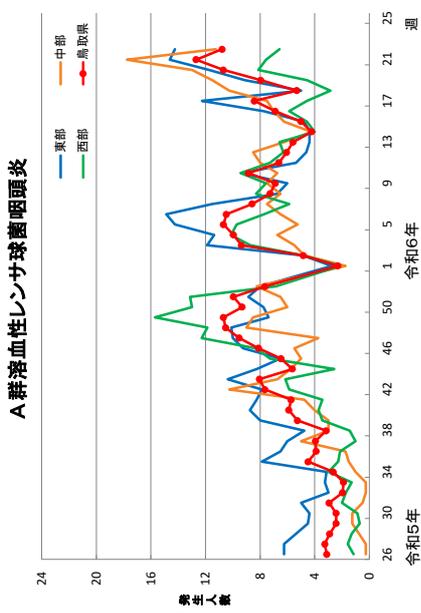
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



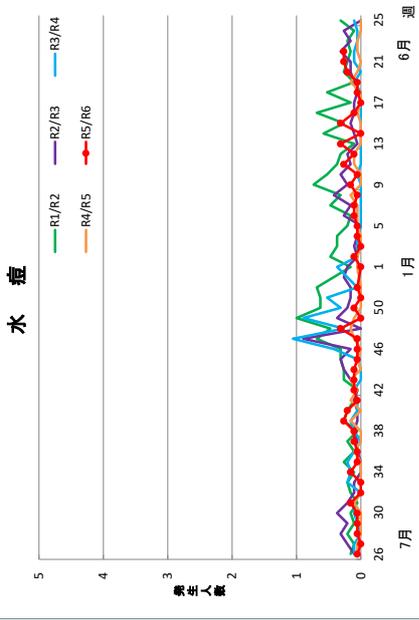
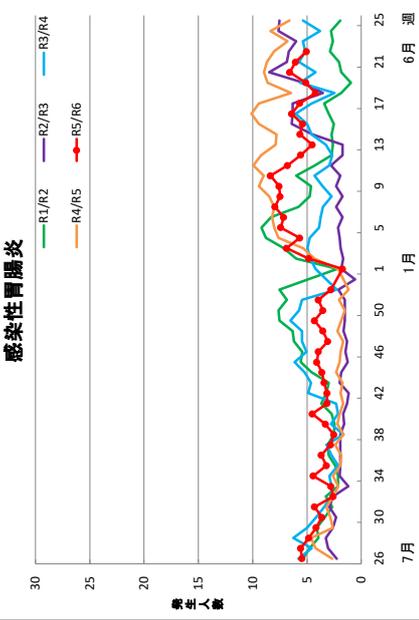
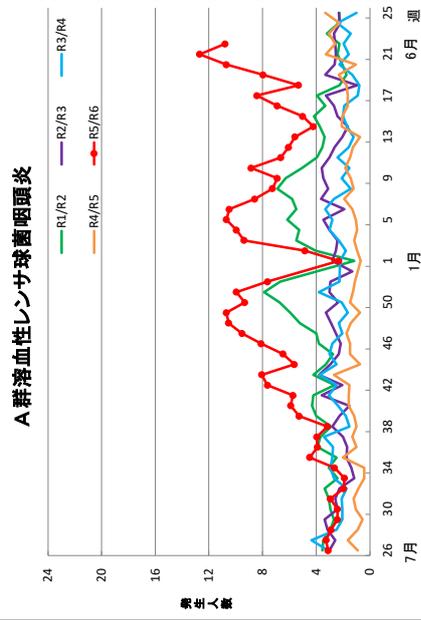
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



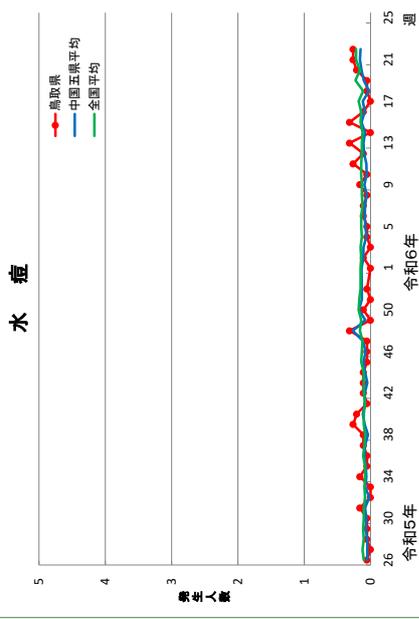
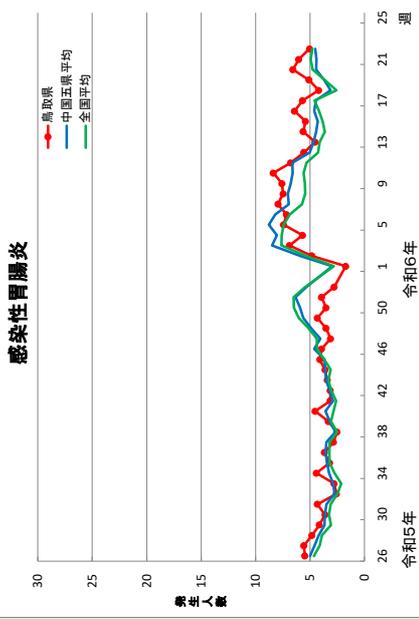
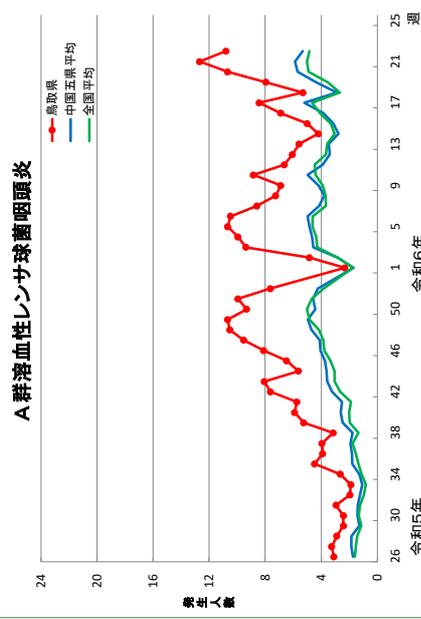
地区別発生状況グラフ(定点当たり)



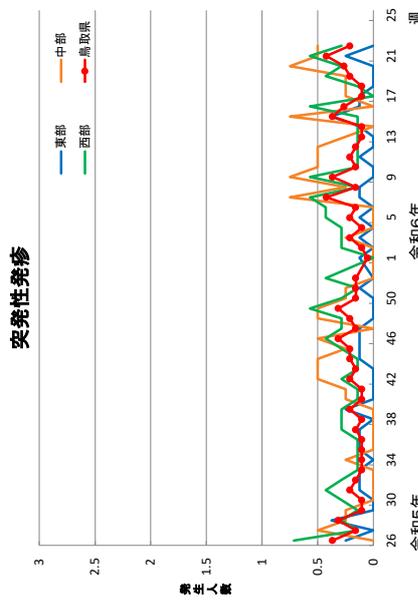
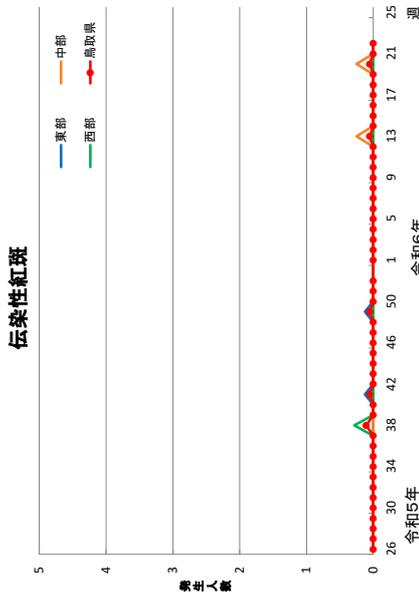
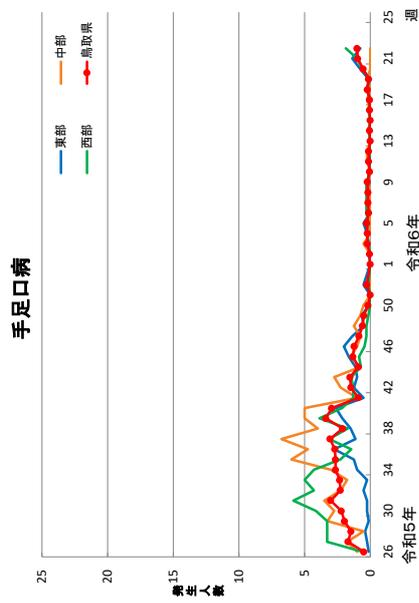
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



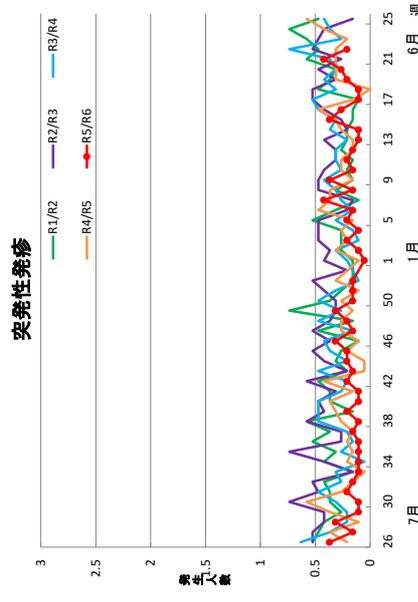
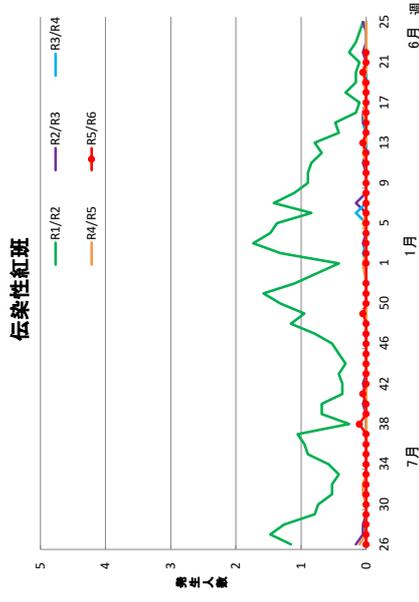
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



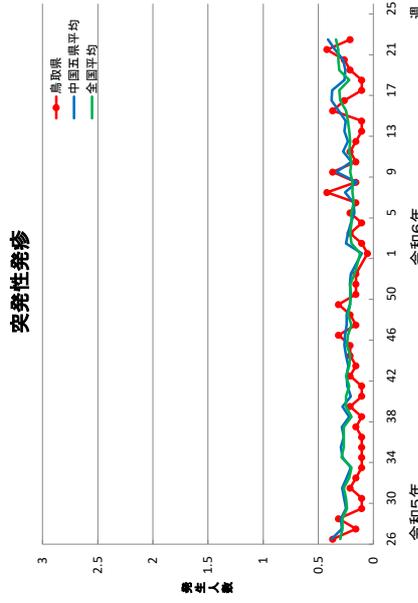
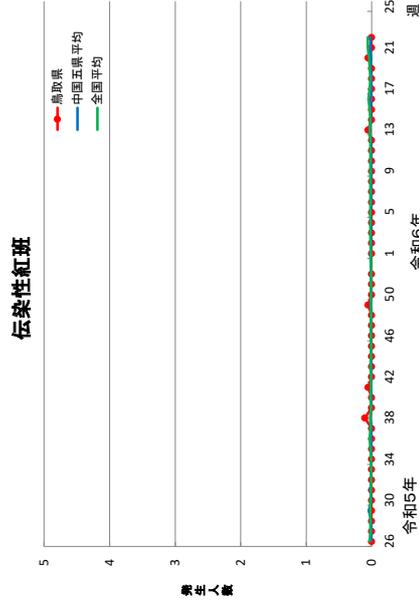
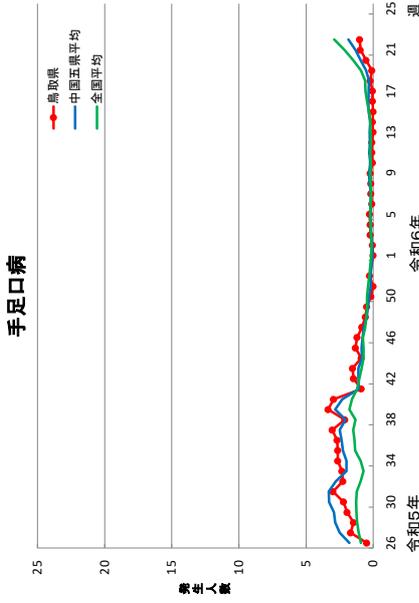
地区別発生状況グラフ(定数当たり)



年次別発生状況グラフ(定数当たり)

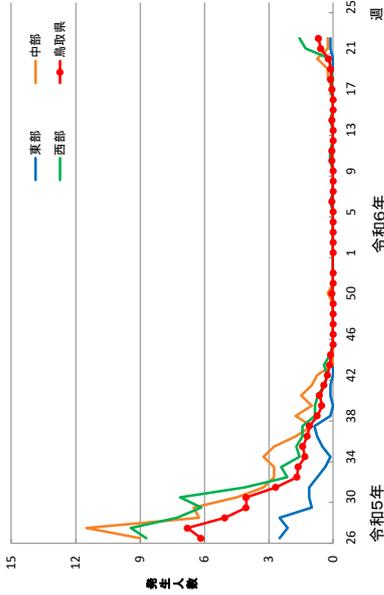


中国五県平均・全国平均との比較(定数当たり)

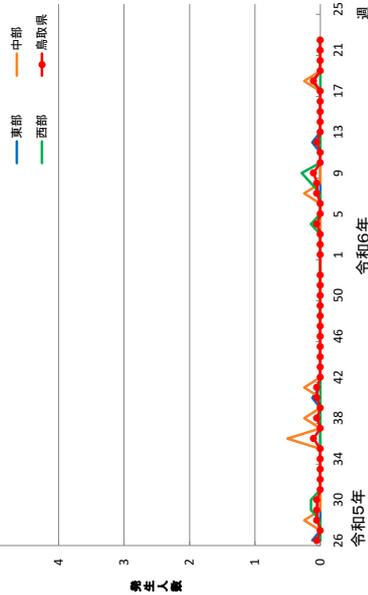


地区別発生状況グラフ(定点当たり)

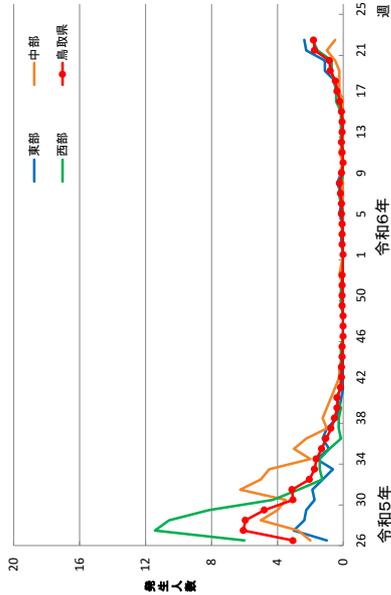
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

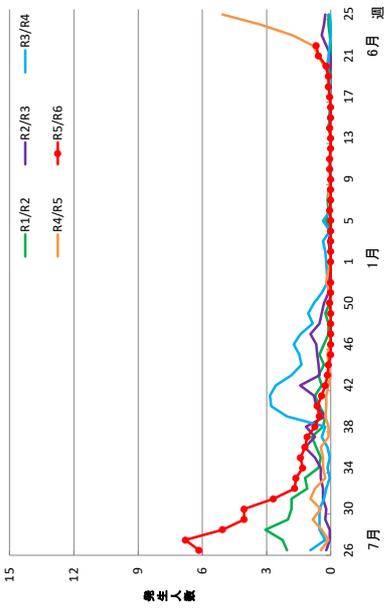


RSウイルス感染症

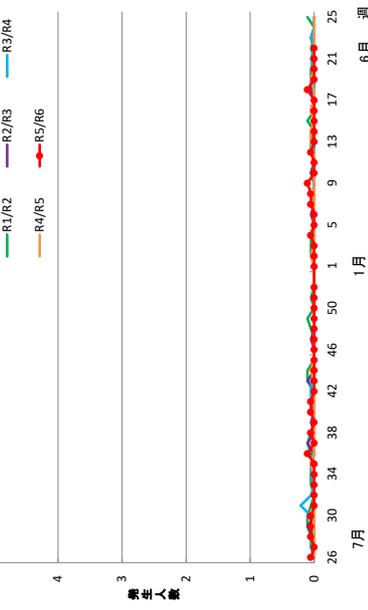


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

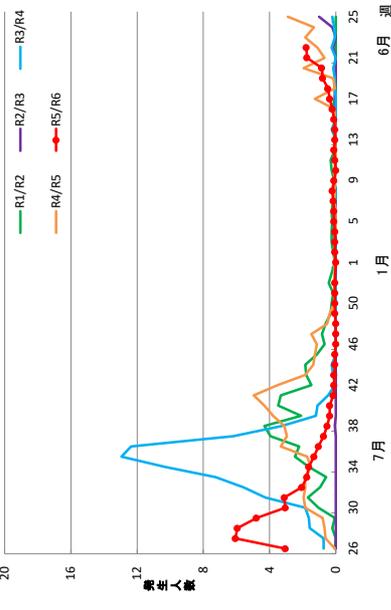
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

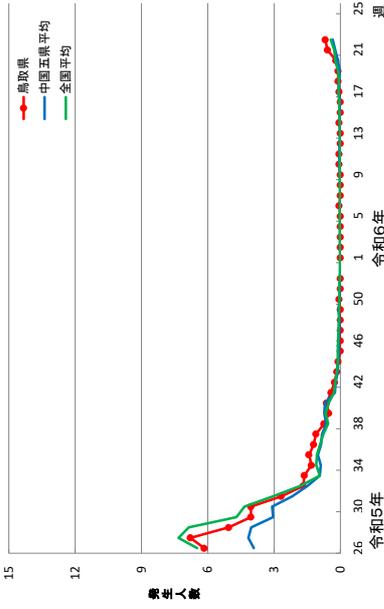


RSウイルス感染症

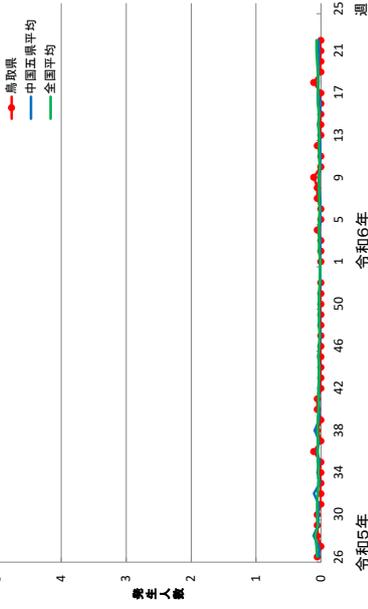


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

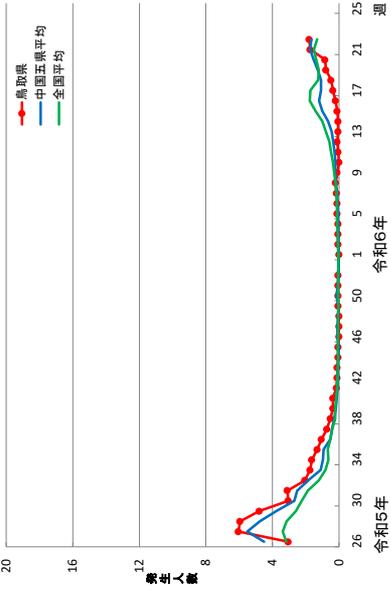
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

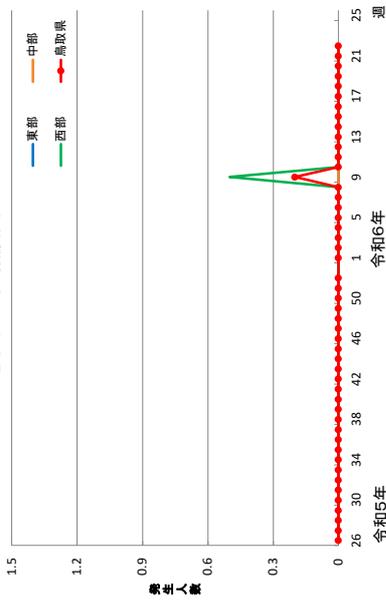


RSウイルス感染症

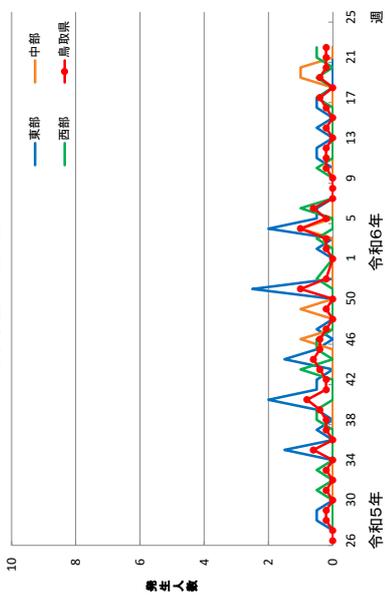


地区別発生状況グラフ(定点当たり)

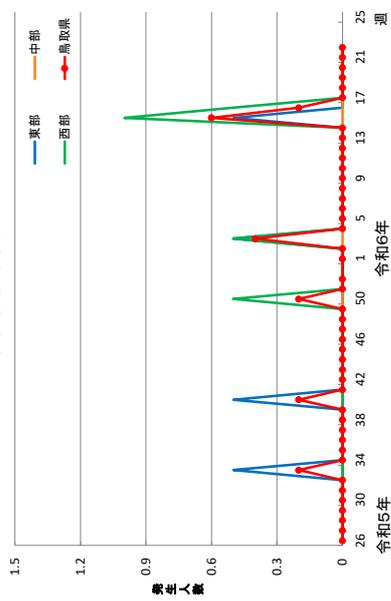
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

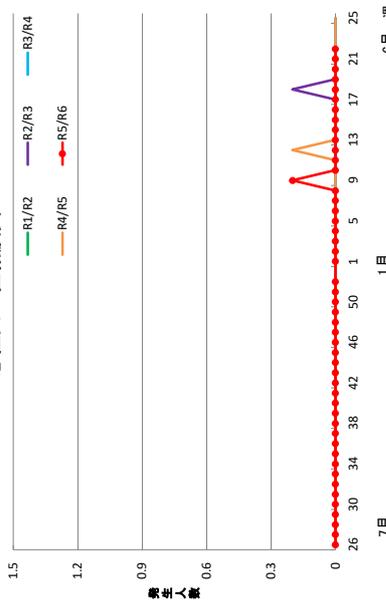


細菌性髄膜炎

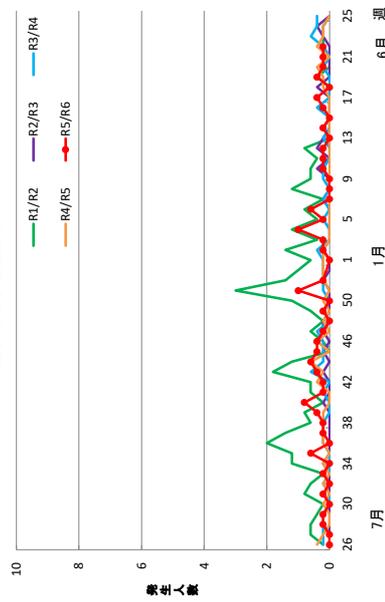


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

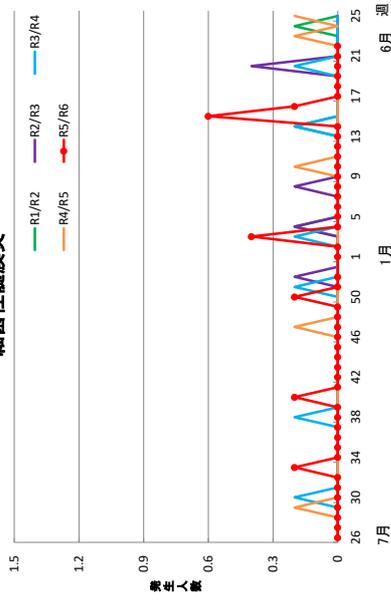
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

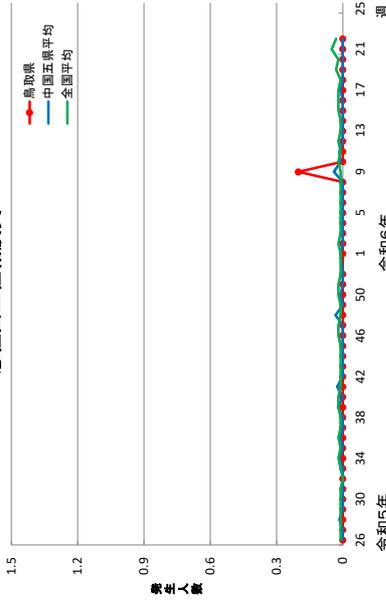


細菌性髄膜炎

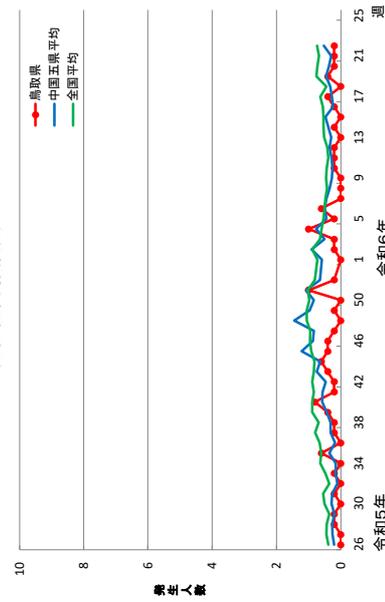


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

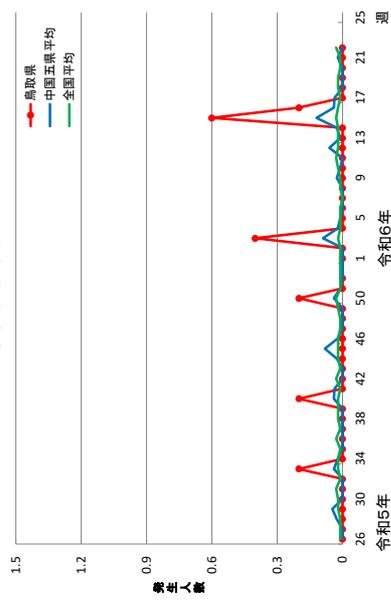
急性出血性結膜炎



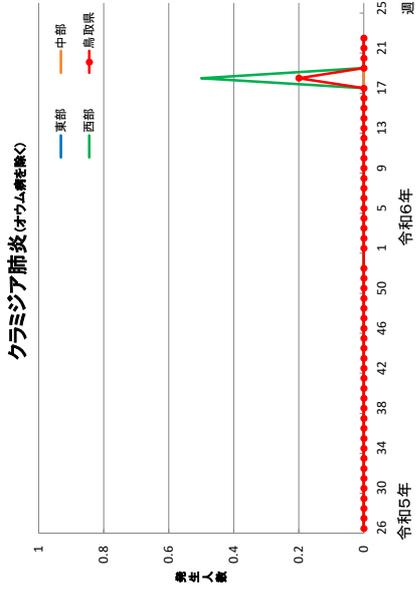
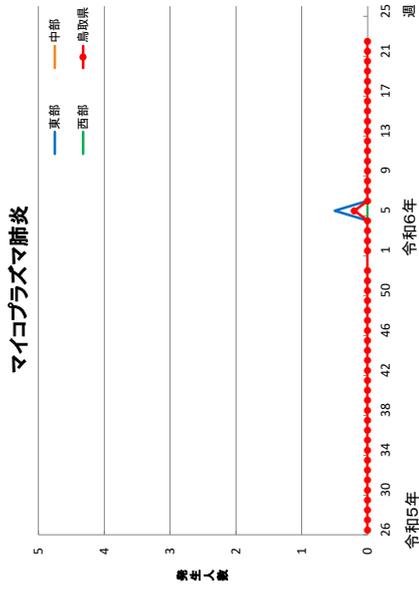
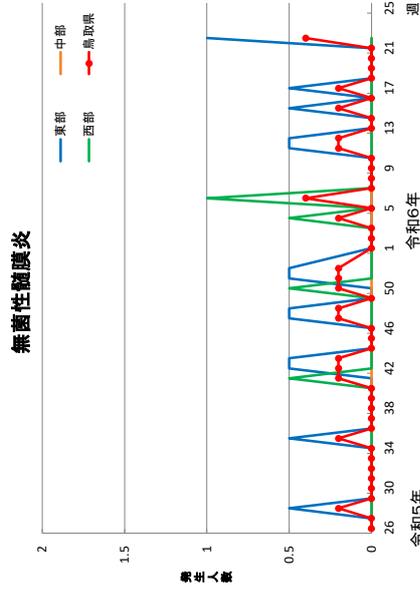
流行性角結膜炎



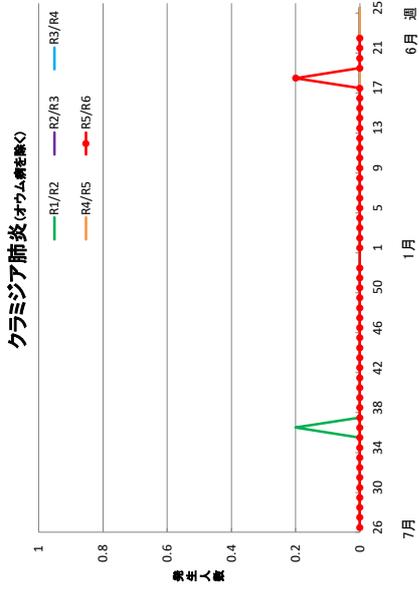
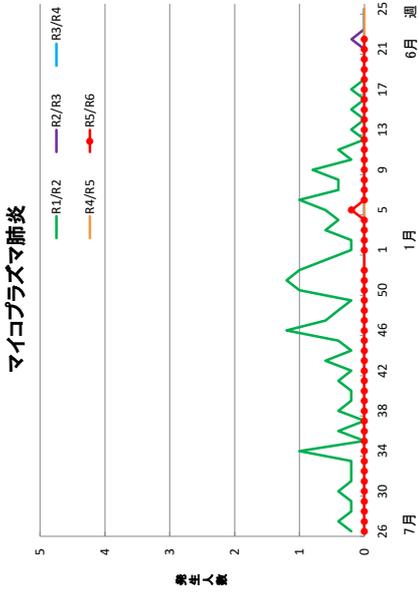
細菌性髄膜炎



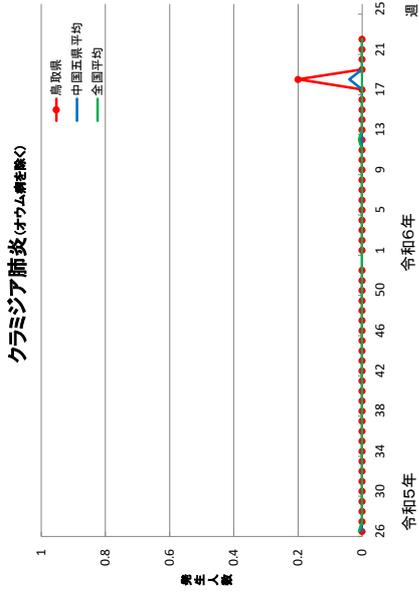
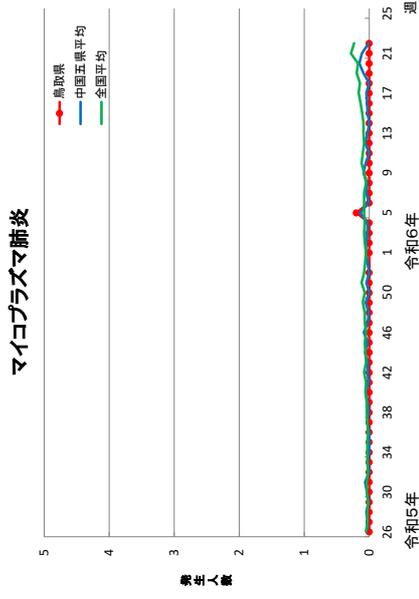
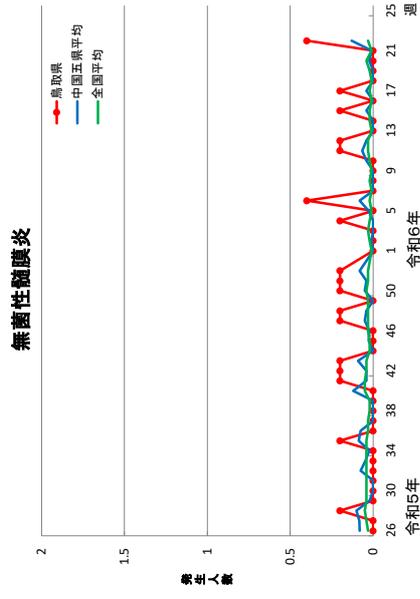
地区別発生状況グラフ(定点当たり)



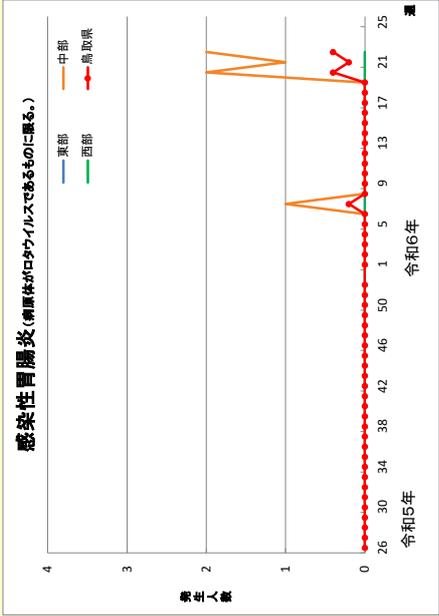
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



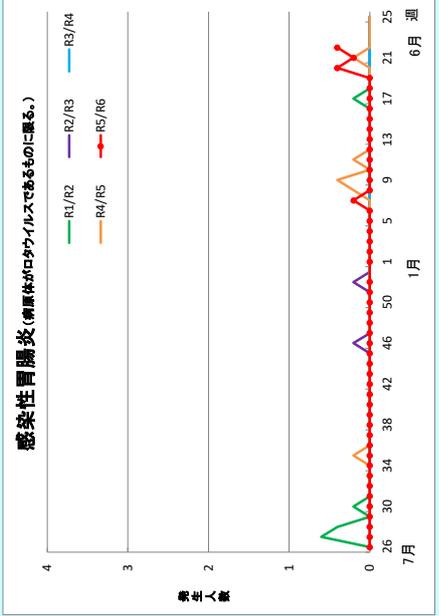
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



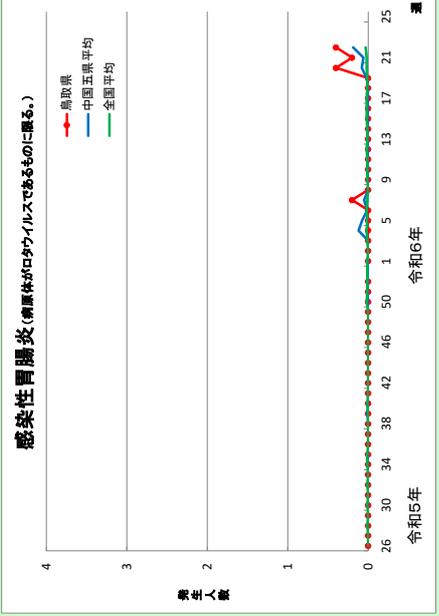
地区別発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)

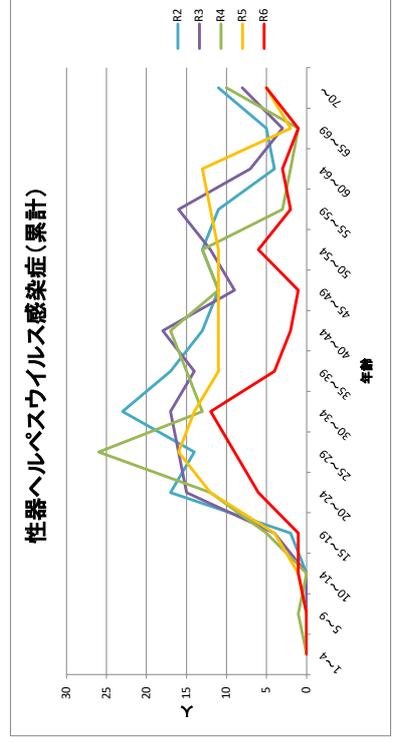
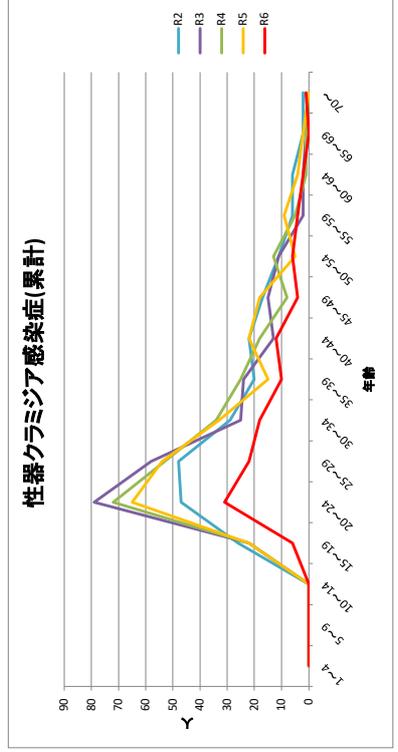
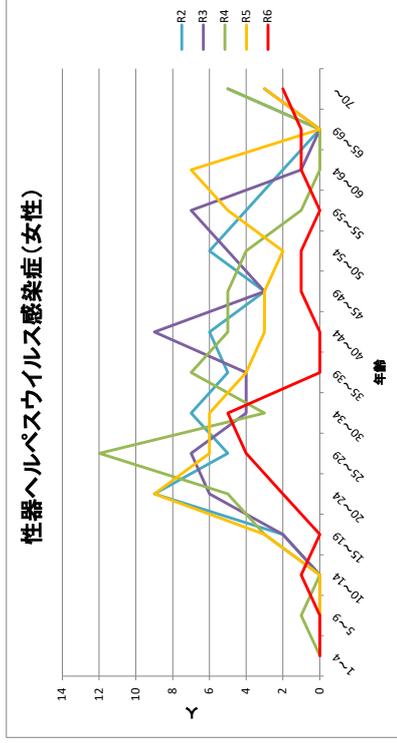
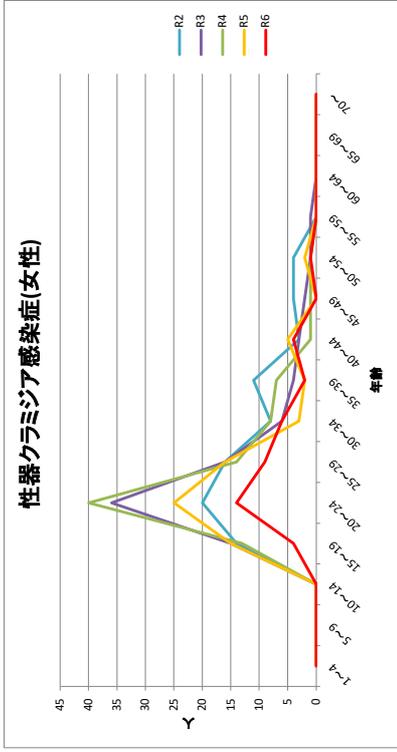
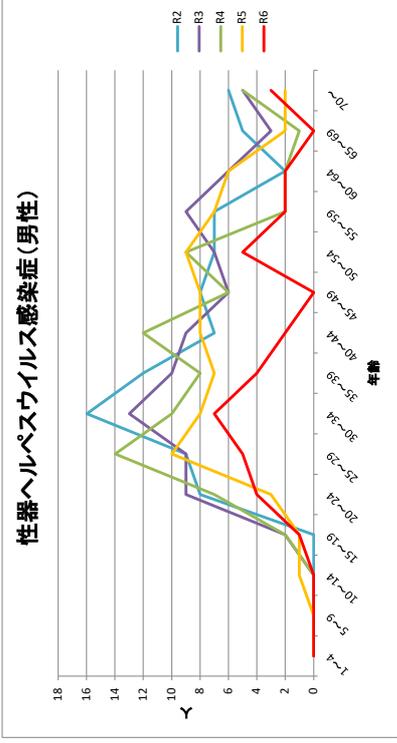
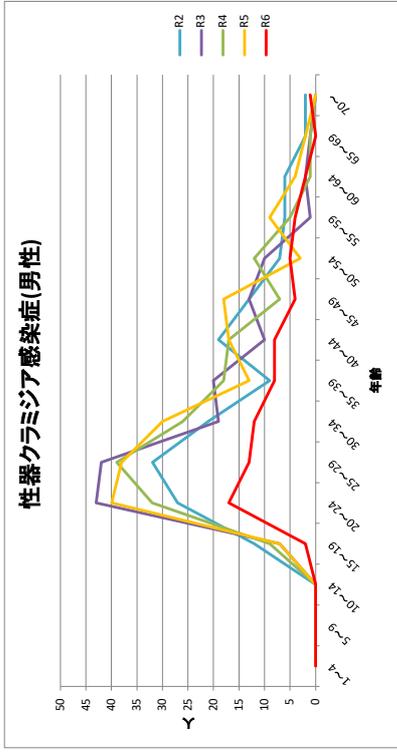


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

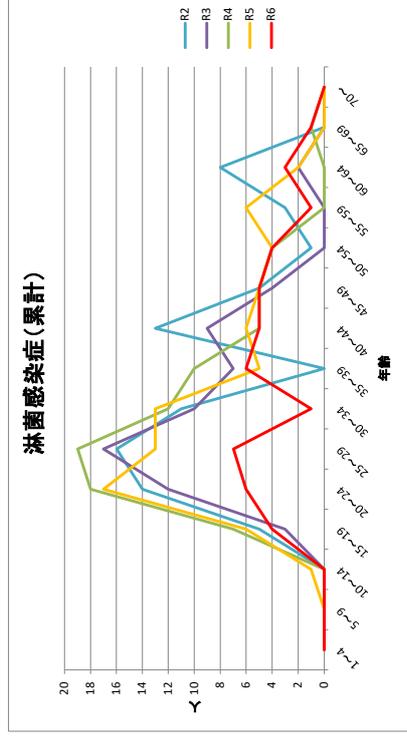
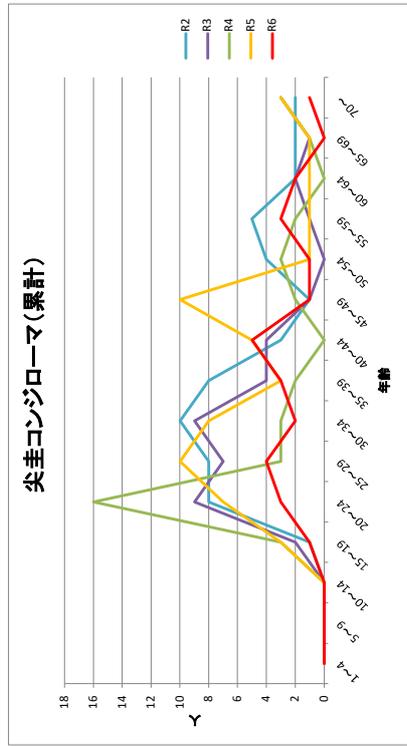
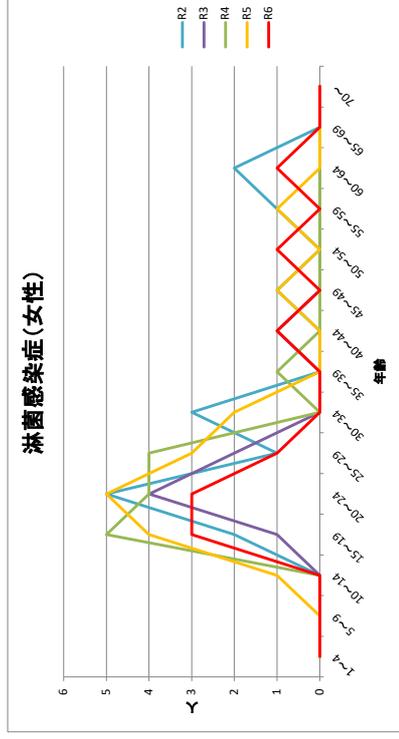
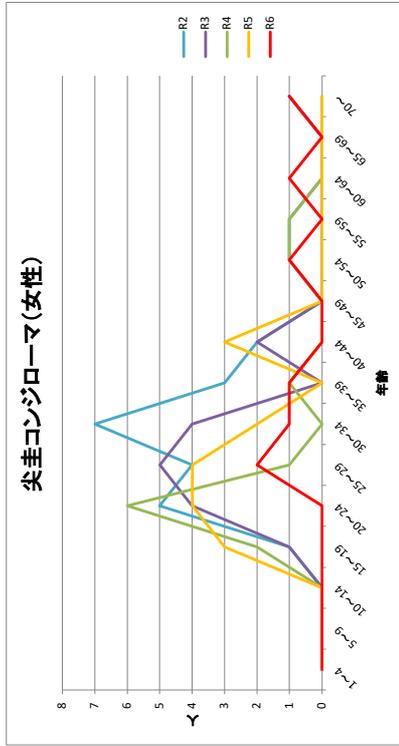
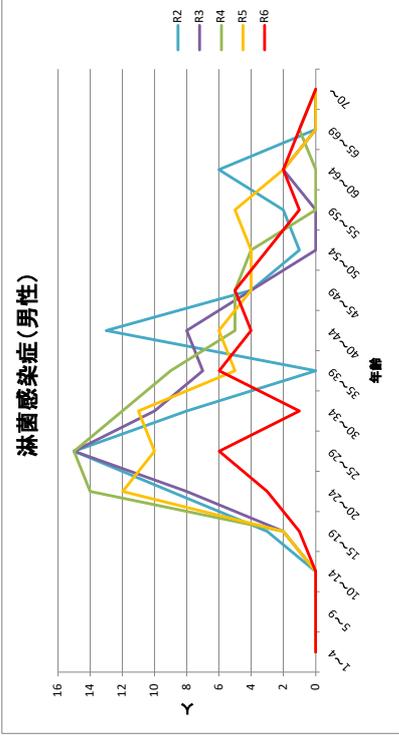
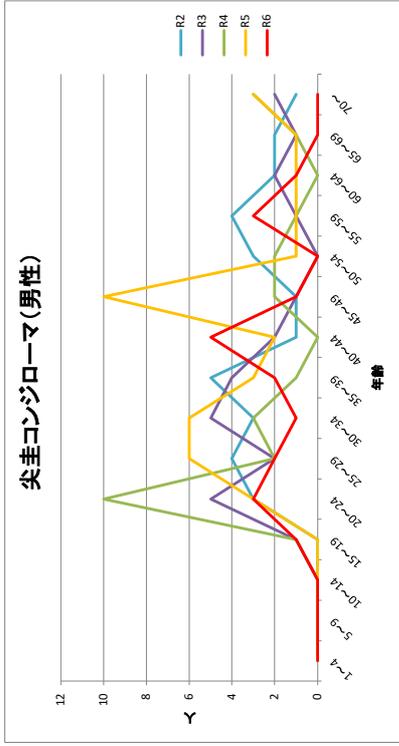


注)新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

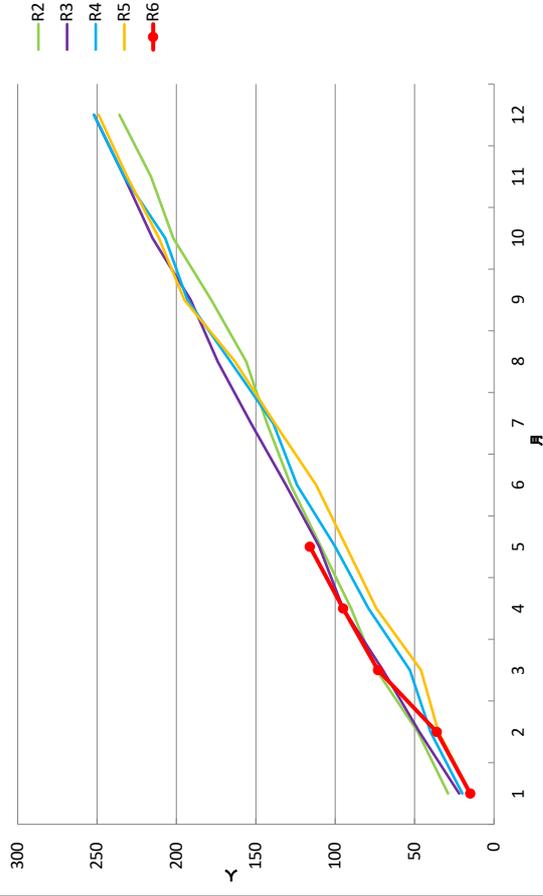
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



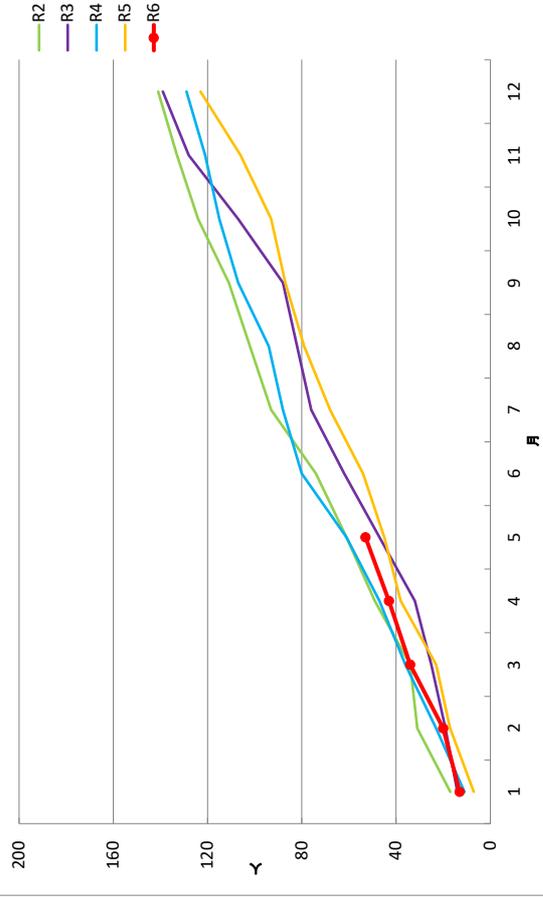
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



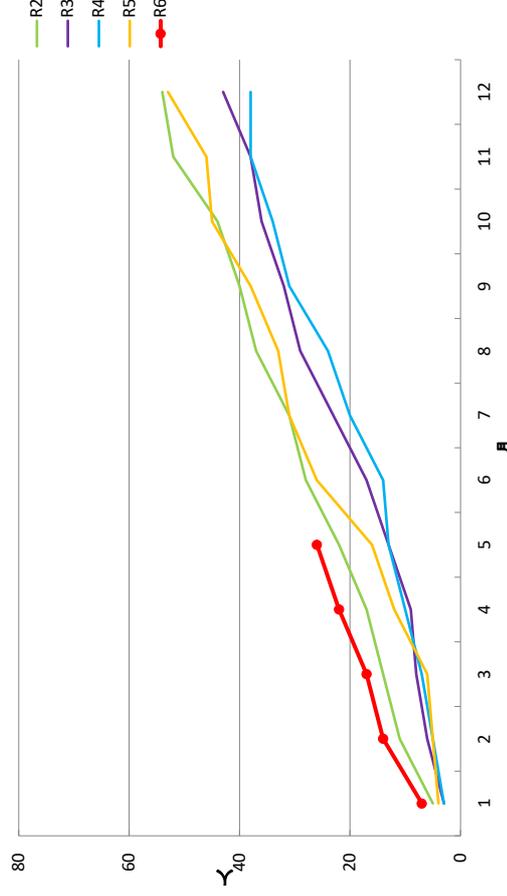
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



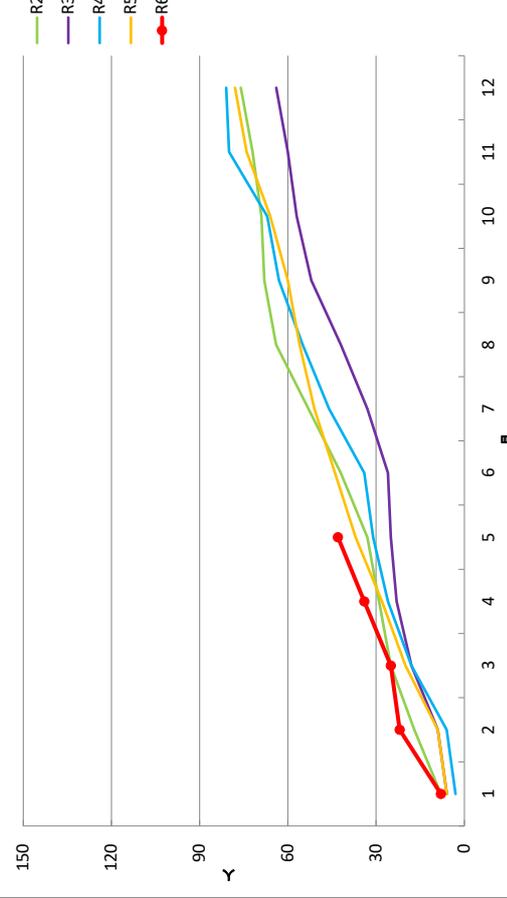
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



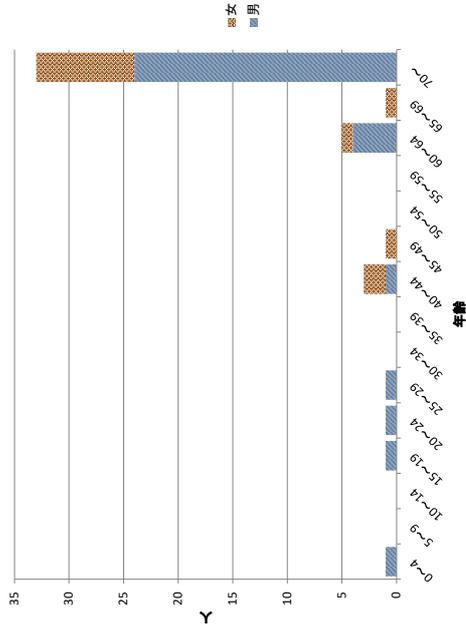
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



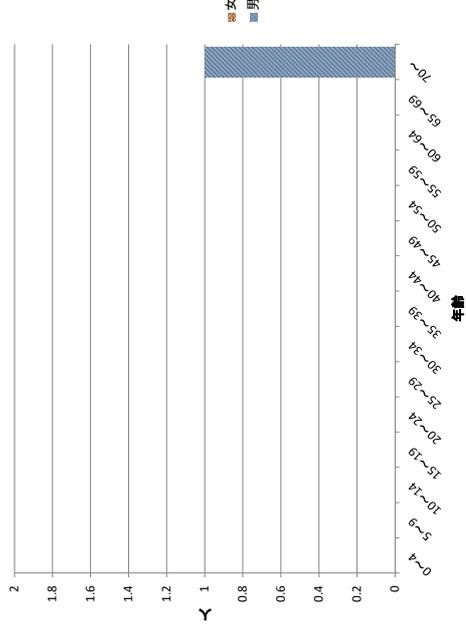
淋菌感染症報告状況(累計)



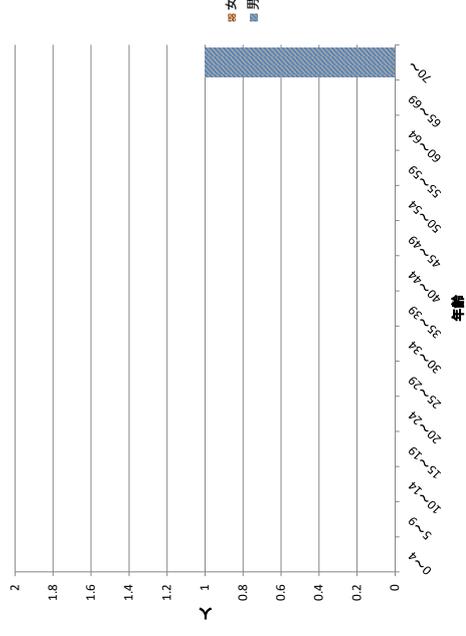
令和6年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(年齢別累計)



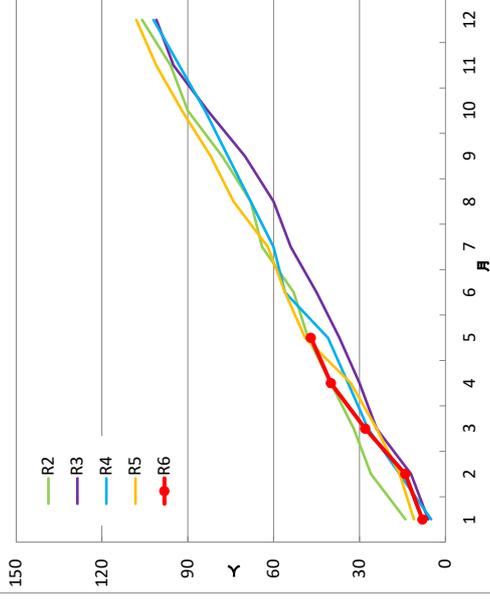
令和6年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
(年齢別累計)



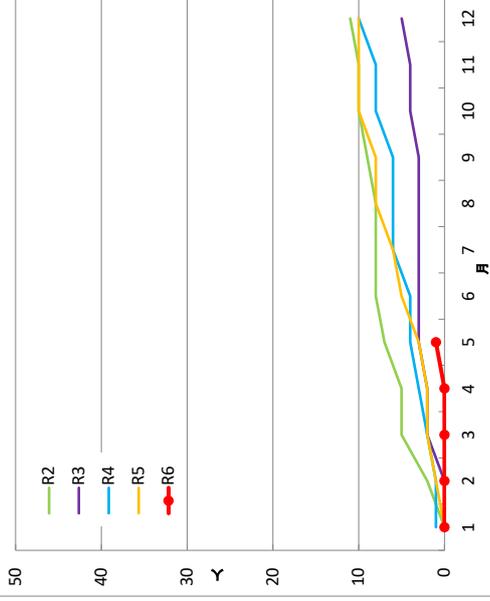
令和6年 薬剤耐性緑膿菌感染症
(年齢別累計)



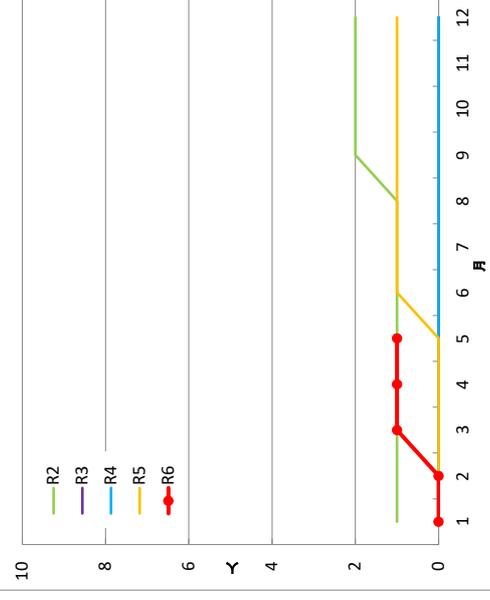
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)



腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													5月時点	年間	
令和6年		1	1		5 (2)								7 (2)	7 (2)	
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)	0 (0)	19 (6)	
令和4年		2 (2)				1	2	3				3 (1)	2 (2)	14 (3)	
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)					3	7 (4)	10 (6)	
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1	3 (1)	26 (9)	
令和元年		1	1		6 (1)	1	2	4 (1)		3 (2)	4	2 (2)	8 (1)	24 (6)	
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1			3 (0)	22 (2)	
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1				4 (3)	1 (1)	3 (2)	21 (11)
平成28年						5 (4)	3 (1)	6 (1)	1			1 (1)	0 (0)	16 (7)	
平成27年						3 (2)	33 (23)	12 (7)	10 (6)	1 (1)	1		0 (0)	60 (39)	
平成26年						7 (4)	1	1	1	5 (3)			0 (0)	15 (7)	
平成25年		1 (1)			1		6	7 (3)	4 (1)	7 (2)			2 (1)	26 (7)	
平成24年						2	1	5 (1)		6 (2)		1	0 (0)	15 (3)	
平成23年				1	5 (2)	3 (2)		2 (1)	3 (1)	4 (2)	1	1	6 (2)	20 (8)	

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O55	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計
令和6年				2 (2)				1						3	1	7 (0)
令和5年		1 (1)												17 (4)	1 (1)	19 (6)
令和4年						3							2 (2)	8	1 (1)	14 (3)
令和3年						4 (2)							1 (1)	3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年	1	4 (2)	1			4 (2)		3 (1)		1 (1)	1		1 (1)	7	3 (2)	26 (9)
令和元年						3 (1)		4 (1)						15 (2)	2 (2)	24 (6)
平成30年		2				3						1		16 (2)		22 (2)
平成29年		1				2 (1)		4 (3)					1 (1)	10 (3)	3 (3)	21 (11)
平成28年		1 (1)												14 (5)	1 (1)	16 (7)
平成27年		40 (28)			1	4 (2)		1					1 (1)	9 (4)	4 (4)	60 (39)
平成26年		7 (4)						5 (3)						3		15 (7)
平成25年		3 (1)							1					21 (5)	1 (1)	26 (7)
平成24年														15 (3)		15 (3)
平成23年		9 (4)				2 (1)								7 (2)	2 (1)	20 (8)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和6年	1	1	1	1 (1)	1			1 (1)		1		7 (2)
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	4 (3)	2			2	19 (6)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (2)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (6)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)		2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)
平成28年	4	4 (3)		1	2 (1)	3 (2)	1 (1)				1	16 (7)
平成27年	22 (13)	18 (12)	2 (1)	2 (2)	4 (4)	6 (3)	1 (1)	3 (2)			2 (1)	60 (39)
平成26年	6 (1)	3 (1)				2 (2)	2 (2)	1		1 (1)		15 (7)
平成25年	6	2	3 (1)	1	3 (1)	1	2 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	26 (7)
平成24年	3	3 (1)	3	1	2	2 (2)			1			15 (3)
平成23年	4 (1)	5			3 (1)	3 (2)		1 (1)	2 (2)	1	1 (1)	20 (8)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和6年		3	4 (2)	7 (2)
令和5年	3 (1)	7 (1)	9 (4)	19 (6)
令和4年	5 (1)	6	3 (2)	14 (3)
令和3年	4 (2)	3 (2)	3 (2)	10 (6)
令和2年	3	15 (5)	8 (4)	26 (9)
令和元年	6 (2)	14 (3)	4 (1)	24 (6)
平成30年	7	5	10 (2)	22 (2)
平成29年	1	8 (4)	12 (7)	21 (11)
平成28年	2 (1)	12 (5)	2 (1)	16 (7)
平成27年	4 (4)	45 (31)	11 (4)	60 (39)
平成26年	1	8 (4)	6 (3)	15 (7)
平成25年	4 (1)	9 (3)	13 (3)	26 (7)
平成24年	7 (2)	1	7 (1)	15 (3)
平成23年		2 (1)	18 (7)	20 (8)

鳥取県病原微生物検出情報

(令和6年5月検出分；検体採取 令和6年4,5月)

令和6年6月14日

鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体はなかった。臨床診断名がインフルエンザ様疾患の検体1件（検体採取5月上旬）について検査を実施したところ、インフルエンザウイルスは検出されなかった。

表1 2023/2024 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別					備考
年	月日			A (H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	B 系統不明	
2023	9月11日	西部	1	1	0	0	0	0	
	10月6日	西部	4	0	4	0	0	0	
	11月6日	西部	3	1	2	0	0	0	
	11月9日	東部	1	0	1	0	0	0	
	11月27日	西部	2	0	2	0	0	0	
	11月24日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月8日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月18日	西部	2	1	1	0	0	0	
	12月20日	西部	1	0	1	0	0	0	
12月23日	西部	1	0	1	0	0	0		
2024	1月17日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月19日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月22日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月23日	西部	1	0	0	1	0	0	
	1月22日	中部	1	0	0	1	0	0	
	2月5日	西部	2	1	0	0	0	1	
	2月6日	西部	1	0	0	1	0	0	
	2月15日	西部	1	0	0	1	0	0	
	3月2日	西部	1	0	1	0	0	0	
	3月4日	西部	2	1	0	1	0	0	
	3月5日	西部	1	0	1	0	0	0	
	4月10日	西部	1	0	0	1	0	0	
	4月16日	西部	1	0	0	1	0	0	
	4月24日	西部	1	0	0	1	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2023/9/4～現在)			34	9	16	8	0	1	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（6月4日作成）によると、2023/24 シーズンはAH3型が最も多く検出されており、次いでA(H1)pdm09型が検出されている。第1週以降、Bビクトリア系統の検出割合が増加している（図1）。

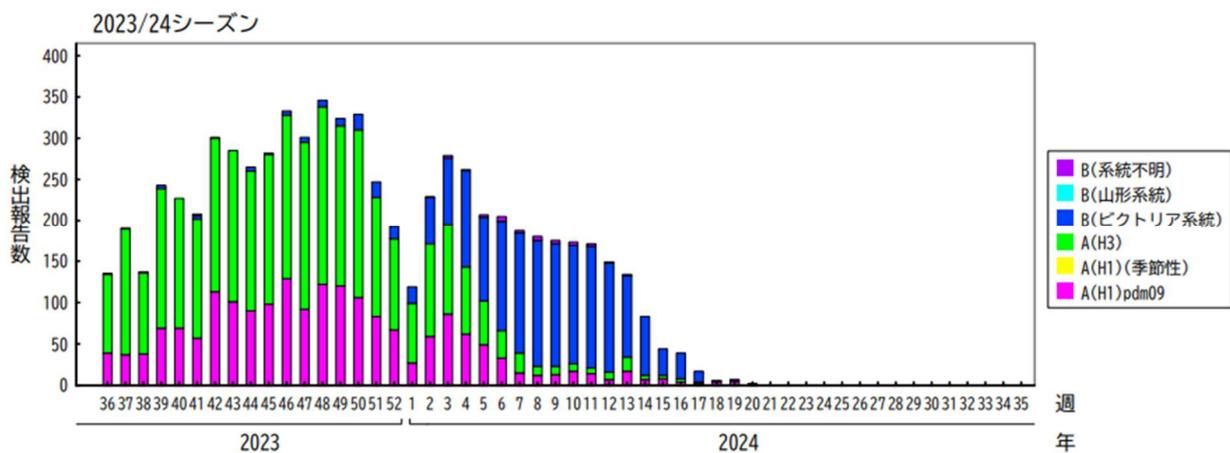


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2023/24シーズン）

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報（2024年6月4日作成）

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体4件について検査を行ったところ、1検体からアストロウイルスが検出された（3検体からは未検出）。（詳細は表2のとおり）

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス40/41型	アストロウイルス
240012	4月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
240013	4月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出
240014	4月下旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
240015	4月下旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
検出計		0件	0件	0件	0件	1件	1件

(-)：未検出

3 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件（検体採取4月下旬（検体番号20240422-1））について検査を実施したところ、アデノウイルス(B種)が検出された。

新型コロナウイルスゲノム解析結果

令和6年6月14日

鳥取県衛生環境研究所

○解析件数：215件（搬入件数：262件 重複やCT値>30等の検体を解析から除く）

○結果概要：BA.2.86系統：72件（33.5%），JN.1系統70件（32.6%），XDQ系統49件（22.8%）

表1 鳥取県新型コロナウイルスゲノム解析結果（検体採取日：2月25日～4月29日）

Lineage (pangolon)	件数	備考	前回の検出数
BA.2.86.1	64		64
BA.2.86.3	8		9
JN.1	24	BA.2.86.1の亜系統	17
JN.1.1	1	JN.1の亜系統	5
JN.1.11	2	JN.1の亜系統	初
JN.1.16	1	JN.1の亜系統	初
JN.1.39	1	JN.1の亜系統	初
JN.1.4	12	JN.1の亜系統	11
JN.1.4.5	3	JN.1の亜系統	初
JN.1.5	11	JN.1の亜系統	-
JN.1.11.1	4	JN.1の亜系統	初
JN.1.18	7	JN.1の亜系統	13
KP.3	4	JN.1の亜系統	初
JN.5	1	BA.2.86.1の亜系統	初
JN.11	2	BA.2.86.1の亜系統	5
JN.14	2	BA.2.86.1の亜系統	-
XDQ	23	BA.2.86.1とFL.15.1.1の組換え株	15
XDQ.1	26	XDQの亜系統	初
HK.3	5	XBBの亜系統	5
HK.3.2.2	1	XBBの亜系統	初
GK.1.1	2	XBBの亜系統	-
JG.3	1	XBBの亜系統	-
JG.3.2	1	XBBの亜系統	3
XDP	1	JN.1.4とFL.15の組換え株	初
その他	0		28
解析不能	8		14
合計	215		189

※赤字の系統：現在流行中の注目すべき変異株（VOIs）（WHO指定）（2024.5.3更新）→EG.5, BA.2.86系統, JN.1系統

※青字の系統：現在流行中の監視下の変異株（VUMs）（WHO指定）（2024.5.3更新）→JN.1.7, KP.2, KP.3, JN.1.18

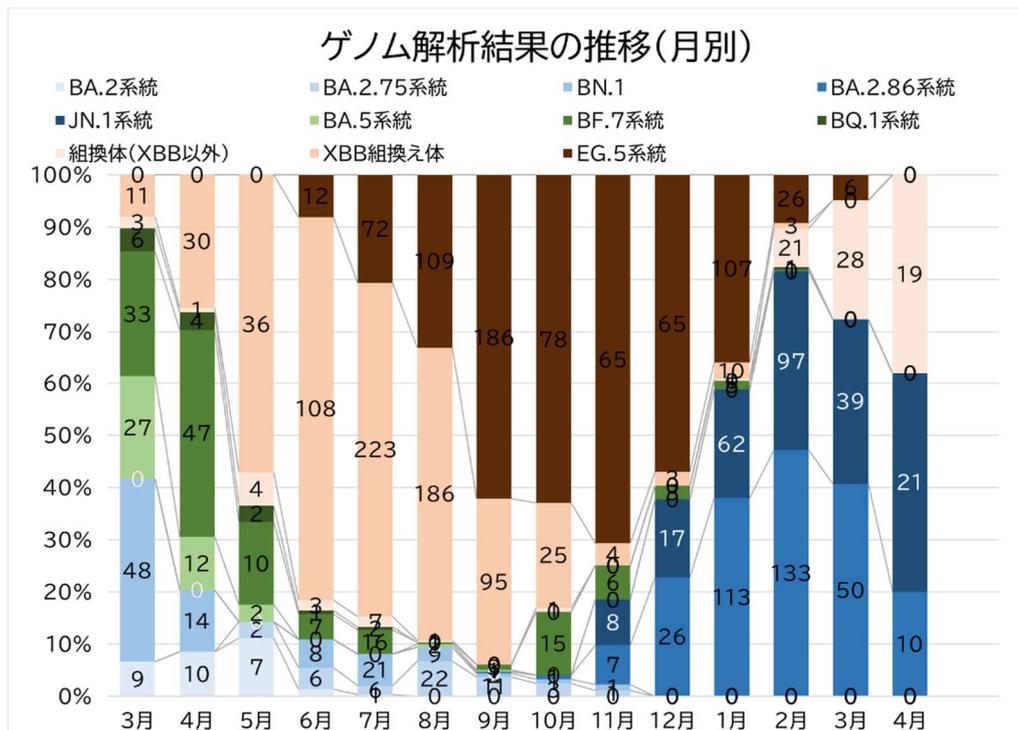


図1 月別新型コロナウイルスゲノム解析結果（2023/24シーズン）

